別紙１

魚津市大町コミュニティセンター整備事業等に係る工事計画概要

この計画概要に記載した事業内容の数値等の設定は、プロポーザル技術提案のためのもので、現時点での想定数値を示します。

１　施設名称　　魚津市大町コミュニティセンター及び旧大町小学校残存校舎

２　事業目的　　参考資料　（１）基本構想　　参考資料　（２）現状

魚津市大町コミュニティセンター整備事業等は、旧大町小学校の敷地に大町コミュニティセンターを移転・整備するほか、旧大町小学校残存校舎の改修を行うものです。

老朽化した従来施設に代わる新たな地域コミュニティの拠点を形成することにより、活気あふれる交流・活動の場として地域の活性化を目指すとともに、敷地内にある体育館等と一体的に運用することで管理運営の効率化を図ります。また、従来施設と比べ海岸から離れることで津波や高潮等のリスクを大幅に低減し、加えて体育館等と連携した避難場所として活用することにより、地域の防災拠点としての機能を強化します。

３　主な利用者　　地域住民、その他市内外からの利用者
子ども、若者、高齢者、障がい者等、幅広い人々

４　敷地概要　　参考資料　（３）整備区域図

（１）整備場所	本町一丁目 204 番地１ほか（旧大町小学校敷地の一部）
（２）整備区域面積	約 3,500 ㎡
（３）用途地域	第一種住居地域（建蔽率 60%／容積率 200%）
（４）防火地域の指定	準防火地域
（５）日影規制	あり
（６）埋蔵文化財包蔵地	あり　※８（１）参照
（７）給処理施設	上水道：市上水道　　下水道：市公共下水道 ガス：プロパンガス　　電気：北陸電力供給地域
（８）周辺環境	富山県道 33 号金山谷田方町線沿い 旧大町小学校残存校舎・体育館・グラウンド 富山県魚津総合庁舎 富山家庭裁判所魚津支部 富山地方鉄道　電鉄魚津駅

５　工事区分

（１）大町コミュニティセンター　新築工事

①構　造　　鉄筋コンクリート造（ＲＣ造）　または　鉄骨造（Ｓ造）

※設計業務委託契約の締結後、富山県が公表する最新の津波浸水想定（令和８年度中に公表予定）及び魚津市地域防災計画（令和８年度中に改訂予定）等を踏まえ、津波や洪水等の災害に耐えうる構造としていずれが適当かを判断し、決定するものとする。**なお、プロポーザル技術提案書は、整備区域の津波浸水深を 1.0mと想定し、ＲＣ造で新築するものとして作成すること。**

②階層　　２階建て
③延床面積　約 850 ㎡以内
④所要室（床面積は目安の広さです）

居室	床面積	補足
大ホール	200㎡	階層は１階を希望
ホール倉庫	50㎡	
研修室１	40㎡	
研修室２	60㎡	階層は１階を希望 置き畳等により和室としても活用可能であること
調理実習室	60㎡	階層は１階を希望
事務室	60㎡	階層は１階を希望 出入口付近に設置 給湯設備、職員休憩スペースの確保
研修室３	50㎡	階層を指定しない
研修室４	50㎡	
研修室５	30㎡	
湯沸室	20㎡	利用者用として１階・２階の両方に設置
その他	230㎡	
合計	850㎡	各室は、可動式間仕切り壁の使用を極力避けること

⑤設備等
ア）１階屋上への屋外階段
イ）１階屋上避難スペース
ウ）屋根付きイベントスペース
⑥その他
ア）完成後、魚津市地域防災計画（令和８年度中に改訂予定）において、指定避難所及び指定緊急避難場所（洪水・地震・津波）に位置付ける予定であるため、同計画その他関係法令に適合させること。

参考資料　（４）指定緊急避難場所の指定に関する手引き（令和８年１月内閣府）

参考資料　（５）津波浸水想定を設定する際に想定した津波に対して安全な構造方法等を定める件（平成 23 年国土交通省告示）

イ）建築基準法、消防法その他関係法令に適合させること。
ウ）必要に応じて建築物の確認申請等各種申請手続きを行うこと。

（２）大町コミュニティセンター　外構工事
①駐車場整備（普通乗用車 35 台分以上）
②駐車場側（県道側）からグラウンドへの車両乗入通路の整備

（３）旧大町小学校残存校舎　改修工事
①建築年　　昭和 53 年
②構造　　ＲＣ造
③階層　　３階建て
④内容

ア）大町コミュニティセンターと連携した倉庫として利用するために必要な改修工事
※排煙窓の設置等、関係法令に適合させるために必要な最低限の改修とする。
イ）屋上等への避難のための屋外階段設置工事

⑤現在の利用状況

階層	利用状況	床面積	補足
１Ｆ	備品置場	524㎡	魚津市地域防災計画（令和８年度中に改訂予定）において、建物全体を災害対策基本法に基づく指定避難所及び指定緊急避難場所（洪水・地震・津波）と位置付けている。
２Ｆ	防災備蓄品置場	524㎡	
３Ｆ	避難場所	524㎡	
塔屋階	－	54㎡	
合計		1,626㎡	

⑥その他
ア）建築基準法、消防法その他関係法令に適合させること。
イ）必要に応じて建築物の確認申請等各種申請手続きを行うこと。
ウ）各階の床面積には、廊下・階段等の面積を含む。
エ）残存校舎の状況は８（２）参照のこと。

６　概算工事費及び工事費財源

（１）概算工事費（上限額）

工事区分	ＲＣ造の場合	Ｓ造の場合
①大町コミュニティセンター新築工事	656,000 千円	529,000 千円
②大町コミュニティセンター外構工事		51,000 千円
合計①＋②	707,000 千円	580,000 千円
③旧大町小学校残存校舎改修工事		34,000 千円

※記載の金額は、プロポーザル実施時点ではなく、設計業務完了時点である。
また、直接工事費及びこれらに伴う共通費、消費税等を含む。
※①の上限額には、ＰＣ杭引抜き及び杭打込みに係る工事（以下「杭工事」という。）を含まない。ただし、設計内容及び地質調査の結果を踏まえ、杭工事が必要と判断される場合、①に杭工事に係る費用を加えるものとする。なお、杭工事は、本事業において必要と認められる内容に限る。ＰＣ杭の存置状況は８（２）及び参考資料を参照すること。

（２）工事費財源（予定）

都市構造再編集中支援事業費補助金
・大町コミュニティセンター新築工事、外構工事・・・高次都市施設-地域交流センター
・旧大町小学校残存校舎改修工事・・・地域生活基盤施設-地域防災施設
参考資料　（６）補助金交付要綱
※この他、市債等を活用予定。なお、記載の財源は現時点の見込みであり、補助金採択状況、設計内容、工事費等により変更となる場合がある。

7　実施予定スケジュール

令和８年度～ 令和９年度	基本設計 実施設計（建築確認申請等含む） 地質調査
令和 10 年度～ 令和 11 年度	新築工事・外構工事 旧小学校残存校舎改修工事
令和 11 年度中	供用開始

※本業務の範囲は、上記のうち下線表示のある部分とする

8　参考情報

（１）埋蔵文化財包蔵地について　参考資料　（３）整備区域図

旧大町小学校敷地周辺は、埋蔵文化財包蔵地であり、令和２年度・令和７年度の試掘調査の結果、本事業に係る整備区域の一部でも遺跡が確認されている。遺跡保護の観点から、整備区域における工事内容に制限が存在するため、それらを十分踏まえた上で技術提案を行うこと。

（２）旧大町小学校残存校舎の状況・ＰＣ杭の存置について

参考資料　（７）旧大町小学校管理教室棟解体工事図面
参考資料　（８）旧大町小学校残存校舎図面
参考資料　（９）ＰＣ杭存置位置図

旧大町小学校は、令和６年度に校舎の一部及びプールの解体工事を実施している。残存校舎の状況については、別添参考資料を参照すること。

また、解体済校舎のＰＣ杭は、地中に存置されているため留意すること。ＰＣ杭の位置,数量、仕様は、別添参考資料を参照すること。なお、杭工事の実施については、設計内容及び地質調査の結果を踏まえ判断することとする。杭工事に係る工事費の取扱いについては、「６概算工事費」を参照のこと。